

第13分科会

ICTを活用した

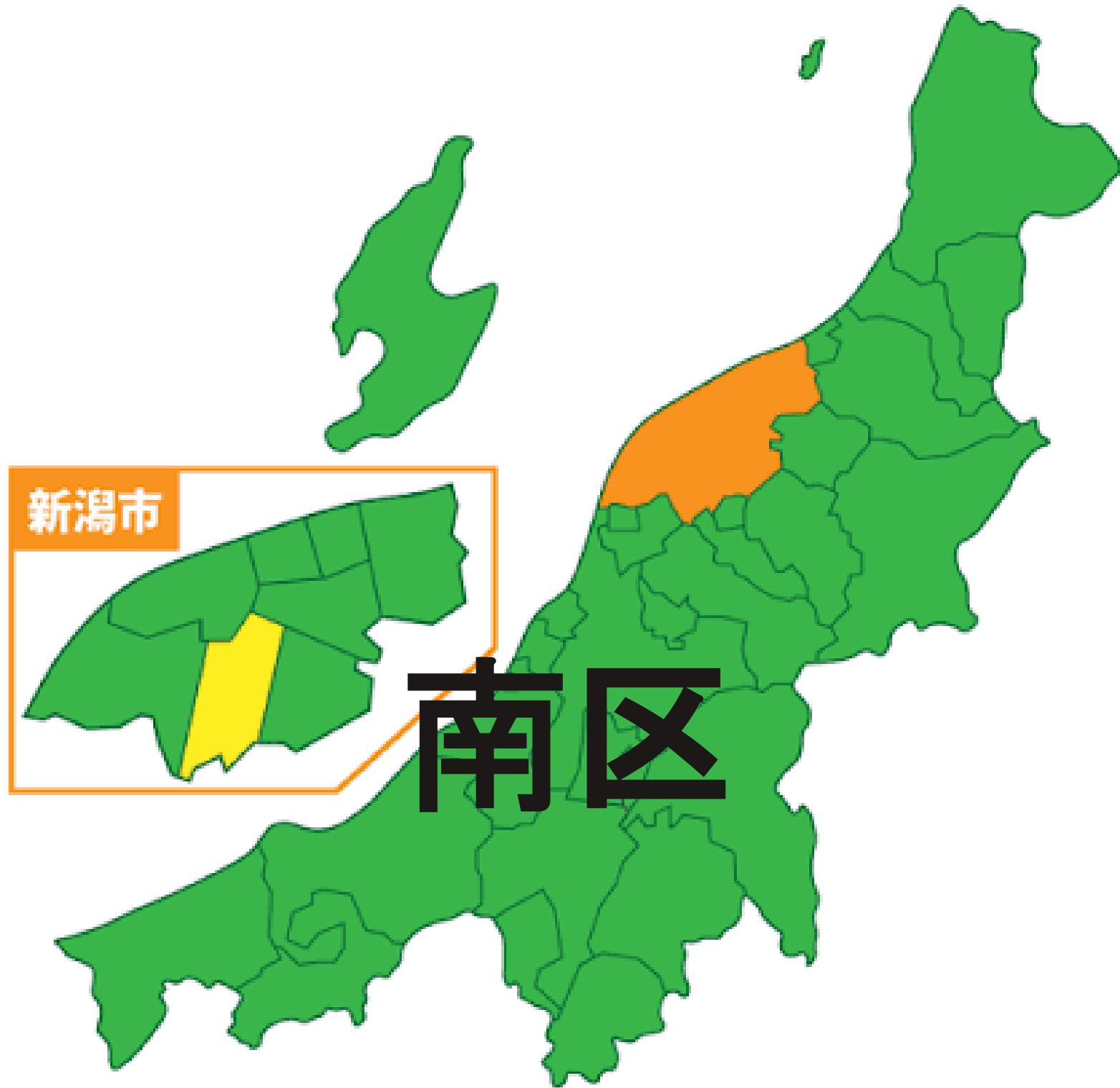
特別支援学級におけるコミュニケーション学習

—オンラインを活用した段階的な取組—

新潟市立結小学校 和泉貴大

(実践校：新潟市立小林小学校)

新潟市立小林小学校について



新潟市立小林小学校について



- ・ 全校児童 : 170人
- ・ 学級数 : 9
- ・ 自閉症・情緒学級 : 2
- ・ 知的学級 : 1

令和8年3月現在

チャレンジ3組について



3年生 1人

4年生 2人

6年生 3人

(年度途中1人転籍)

実践にあたって



対人面でつまずき



実践にあたって



必然性が生まれにくい

心理的負担が大きい

実践にあたって

本実践



少人数と
オンライン

少人数と
直接会う

大人数と
オンライン

大人数と
直接会う

学級内の
活動

オンライン交流

3つの力



相手を意識して
コミュニケーションを
図る力



自分を表現する力



自己理解を深める力

Aさん（4年生）の実態



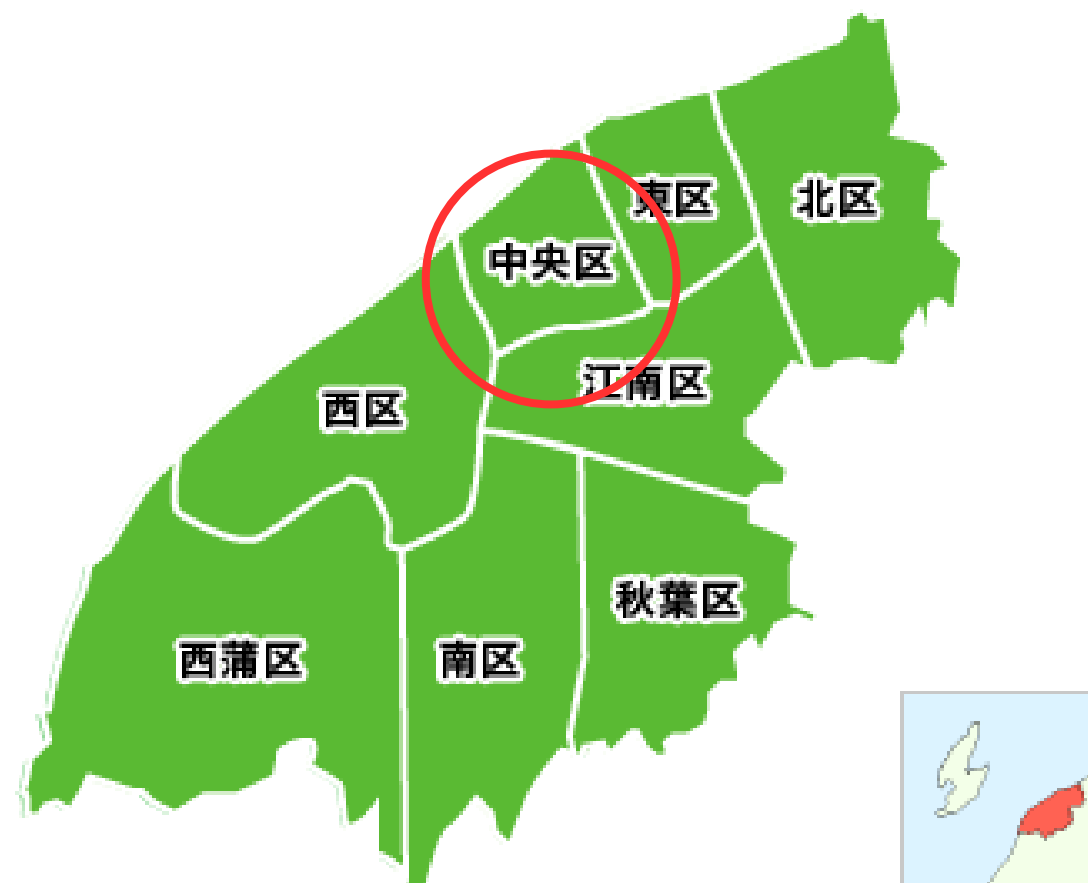
- ・ちょっとしたことでイライラしたり泣いたりする。
- ・特定の子以外と交流するのが苦手。
- ・学力が低く、書字の困難さあり。
- ・人前で発表するのが苦手。
- ・困っている人には優しく声を掛けることができる。

Bさん（6年生）の実態



- ・相手の話を最後まで聞くのが難しい。
- ・単語で話すことが多く、相手に思いを伝えるのが苦手。
- ・自分の興味のないことは取り組むことが難しい。
- ・場に適さない言動がある。
- ・自分のペースを大切にする。

交流先について



新潟市立女池小学校（中央区）

全校児童 682人

学級数 26

自閉情緒 4

知的 1

肢体不自由 1

令和8年4月現在



ICTを使うこと



目的

力の育成

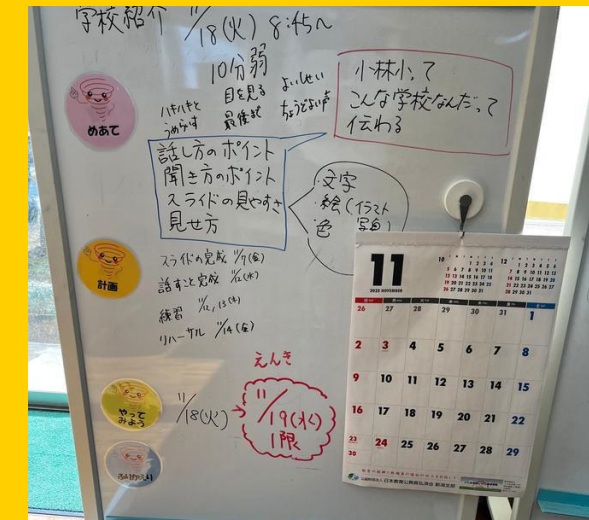
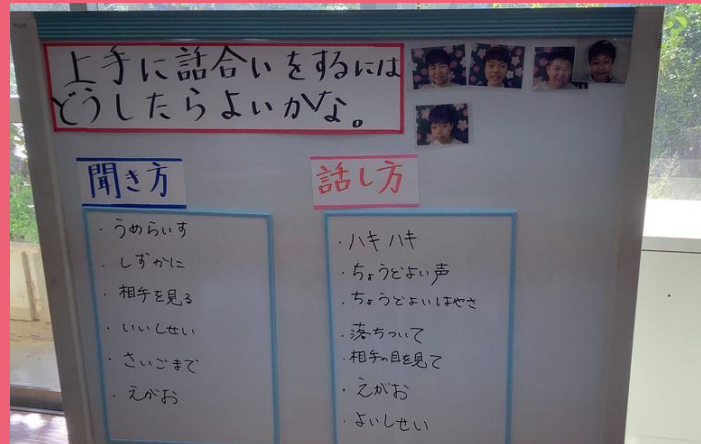
実践の流れ

めあて

計画

振り返り

実践



大切にしたこと



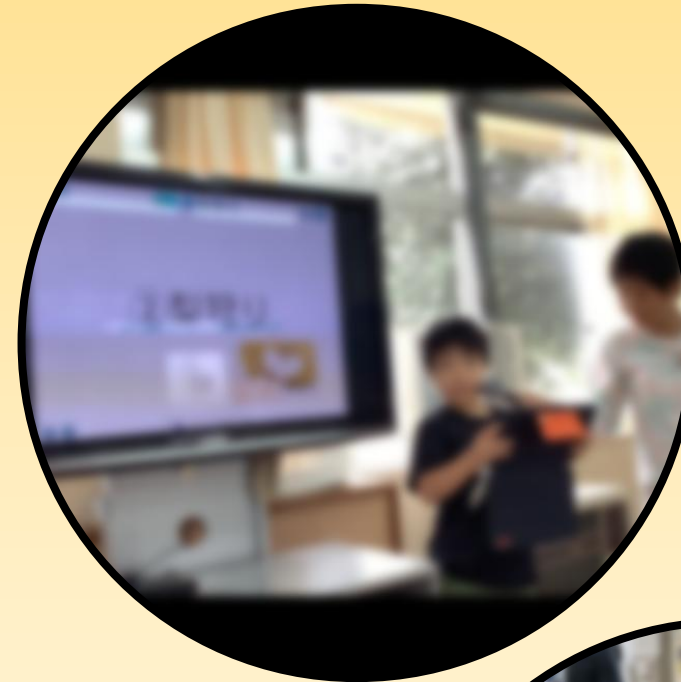
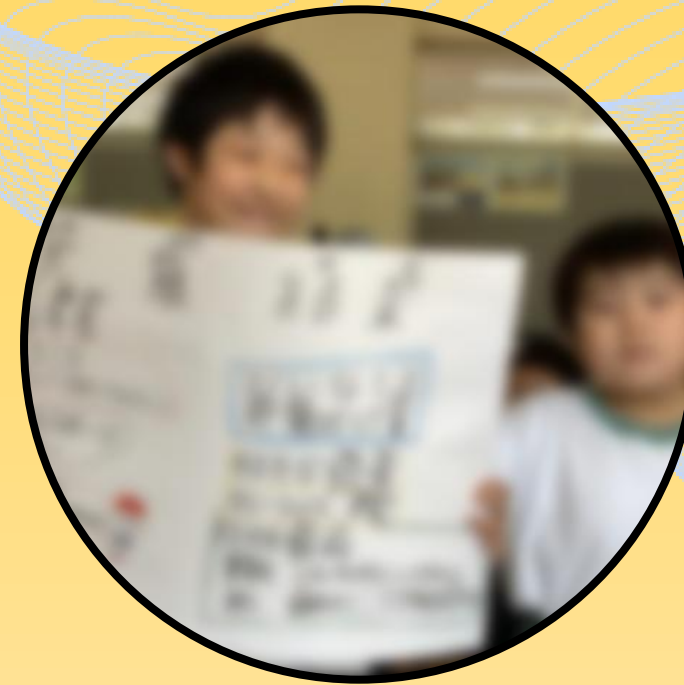
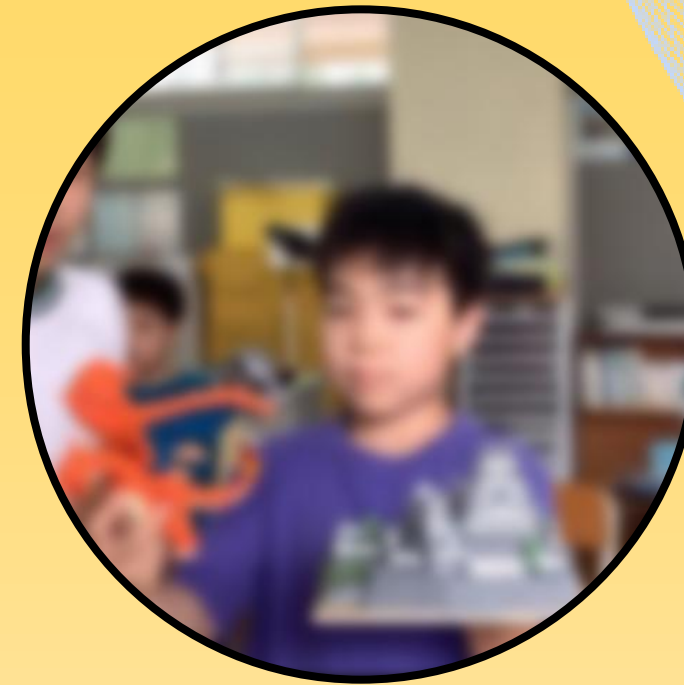
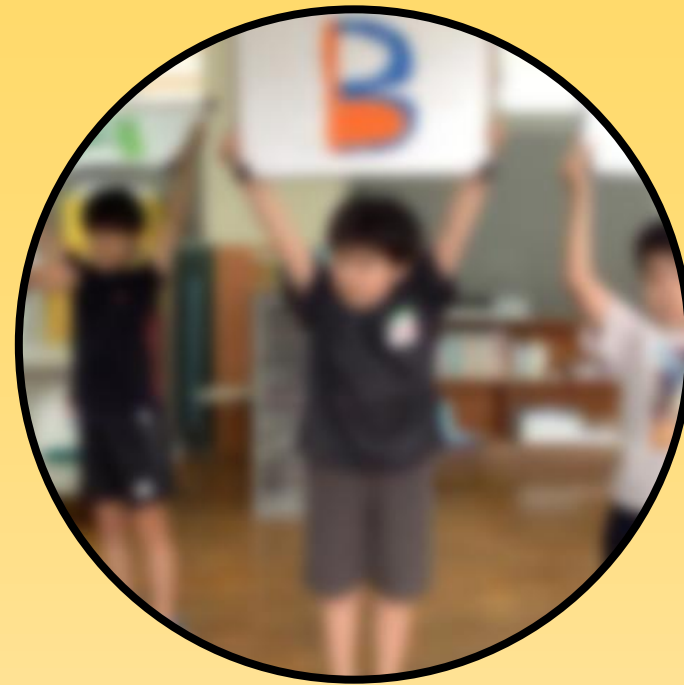
交流の時間と交流以外の時間
両方とも大切にする

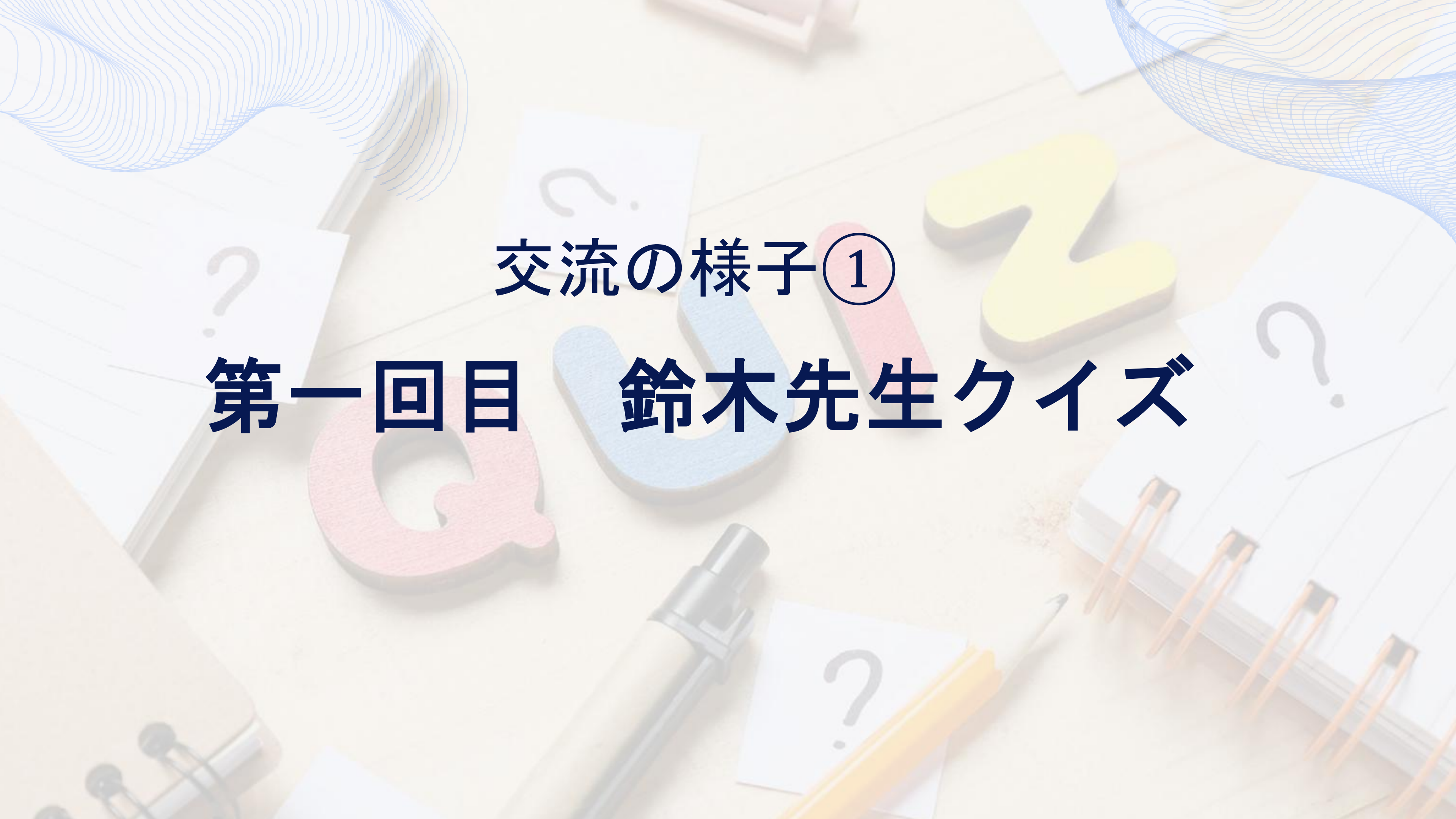


子どもに**必然性**をもたせる

実践内容 一覧

1. 7月 鈴木先生クイズ
2. 9月 和泉先生クイズ
3. 9月 自己紹介
4. 9月 夏休み紹介
5. 9月 俳句紹介
6. 10月 運動会紹介
7. 10月 前期の振り返りと後期のめあて
8. 10月 オンライン作品展
9. 11月 学校紹介
10. 11月 対面交流の相談
11. 12月 対面交流①
12. 1月 校外学習事前指導
13. 2月 対面交流②
14. 3月 ありがとうの会



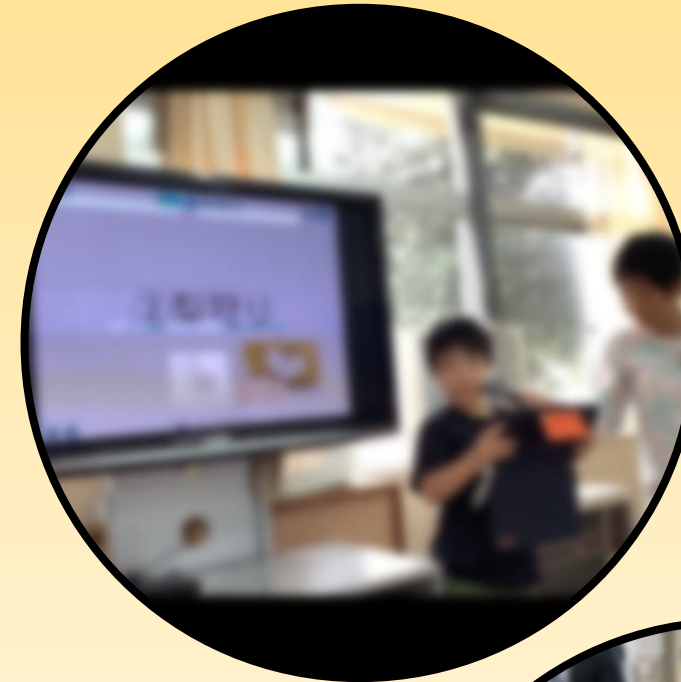
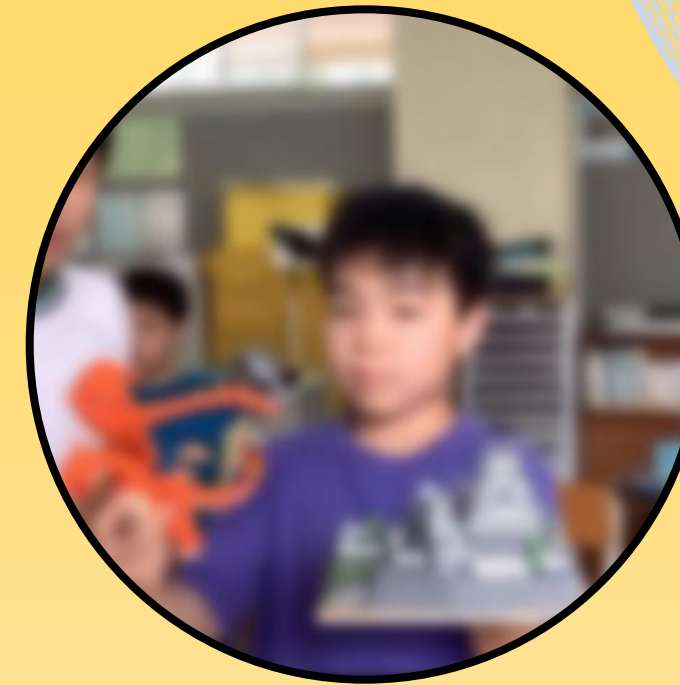
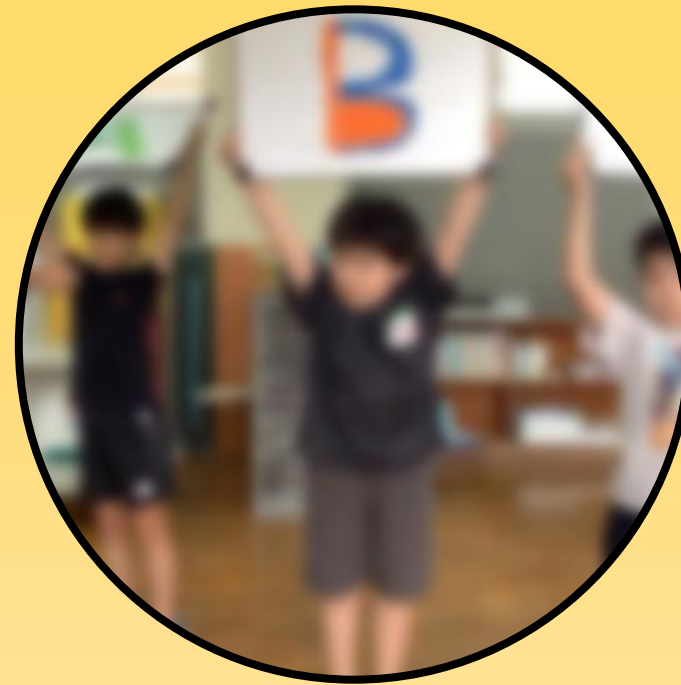


交流の様子①

第一回目 鈴木先生クイズ

実践内容 一覧

1. 7月 鈴木先生クイズ
2. 9月 和泉先生クイズ
3. 9月 自己紹介
4. 9月 夏休み紹介
5. 9月 俳句紹介
6. 10月 運動会紹介
7. 10月 前期の振り返りと後期のめあて
8. 10月 オンライン作品展
9. 11月 学校紹介
10. 11月 対面交流の相談
11. 12月 対面交流①
12. 1月 校外学習事前指導
13. 2月 対面交流②
14. 3月 ありがとうの会



交流の様子① 第1回目 鈴木先生クイズ

- ・ 鈴木先生は小林小から女池小に異動した先生。



- ・ 鈴木先生から手紙が届く。



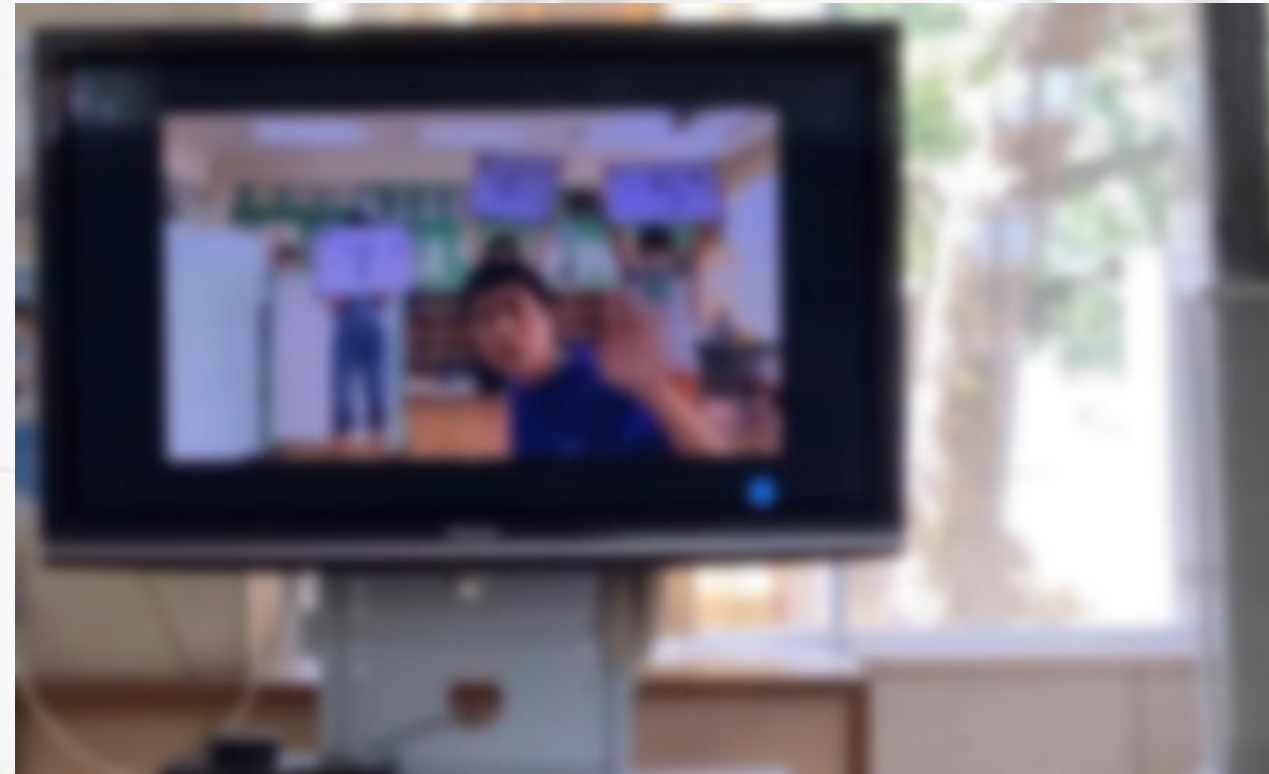
- ・ zoomで会うことに。
- ・ 鈴木先生とスマイル5組のクイズ

鈴木先生に
会いたい！

女池小の
みんなに会
ってみたい

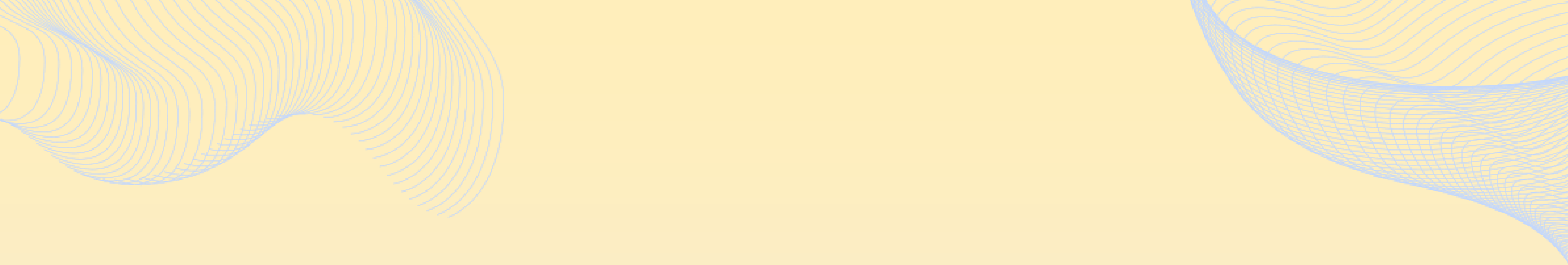
女池小って
どこ？

交流の様子① 第1回目 鈴木先生クイズ



子どもたちの
名前を
明かさない

交流への
意欲↗

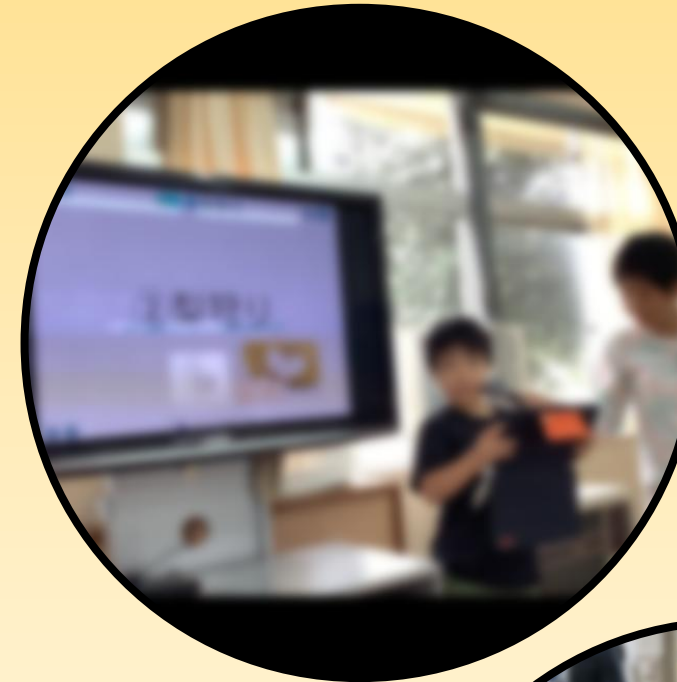
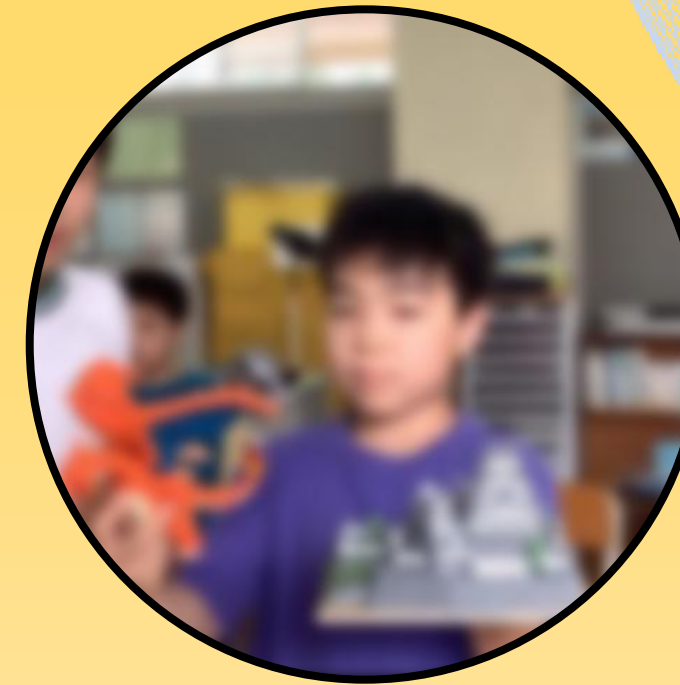
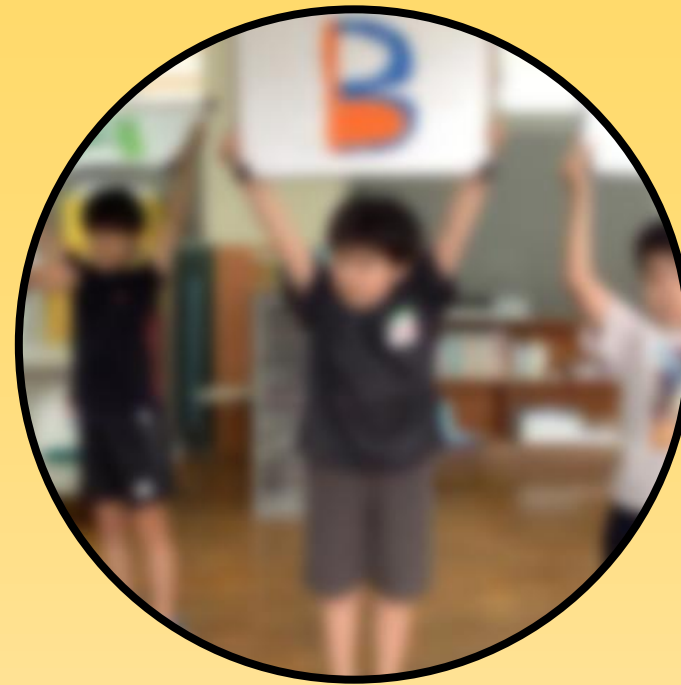


交流の様子②

第3回目 自己紹介 9月

実践内容 一覧

1. 7月 鈴木先生クイズ
2. 9月 和泉先生クイズ
3. 9月 自己紹介
4. 9月 夏休み紹介
5. 9月 俳句大会
6. 10月 運動会紹介
7. 10月 前期の振り返りと後期のめあて
8. 10月 オンライン作品展
9. 11月 学校紹介
10. 11月 対面交流の相談
11. 12月 対面交流①
12. 1月 校外学習事前指導
13. 2月 対面交流②
14. 3月 ありがとうの会



交流の様子② 第3回目 自己紹介 9月

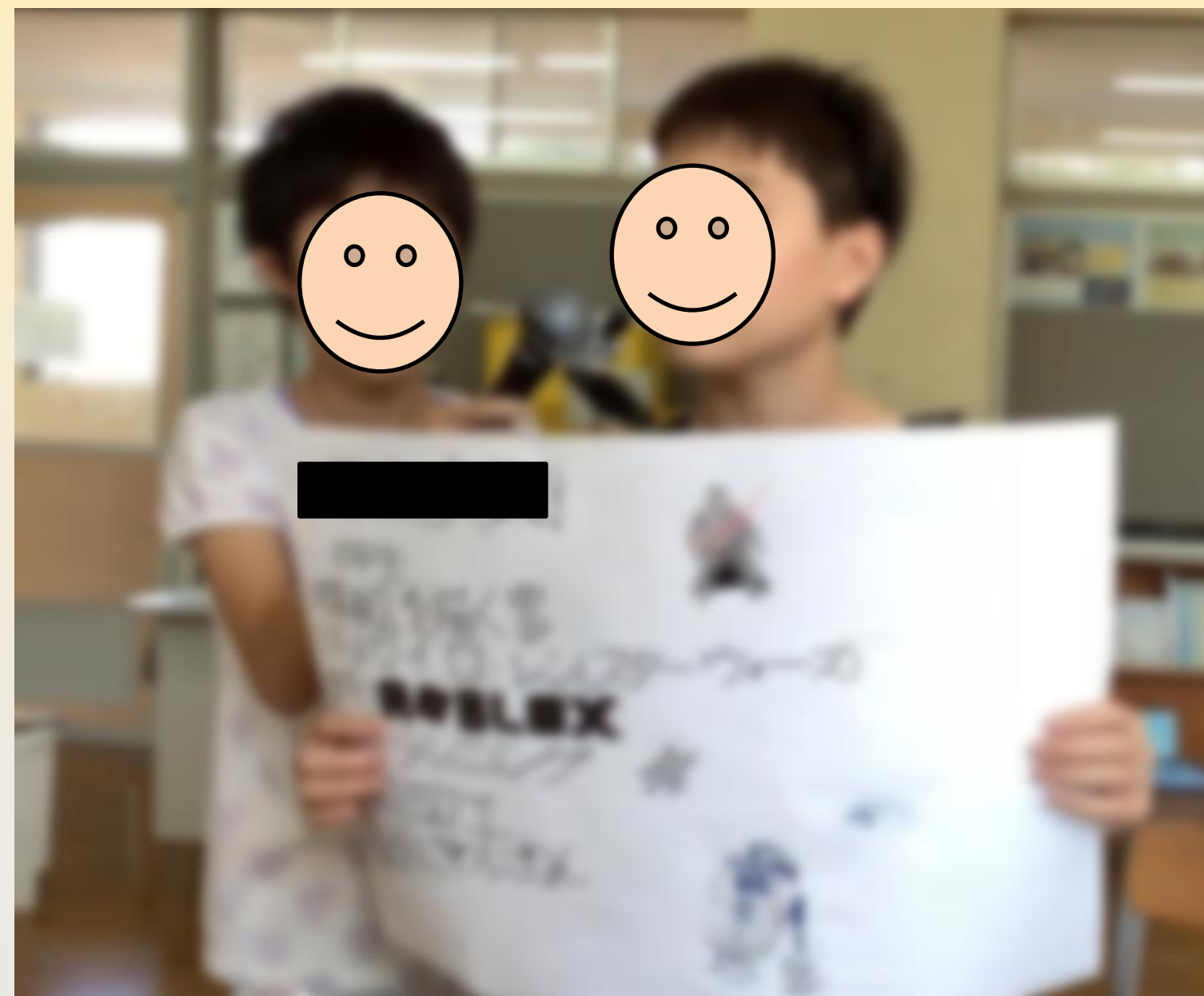
事前指導

- ・ 自己紹介ではどんなことを伝えたらよいか。
- ・ 話す時と聞くときのポイント
- ・ 自己紹介の内容を考える。
- ・ 自己紹介に必要なものを準備する。

交流の様子② 第3回目 自己紹介 9月

名前、学年、好きなこと、
得意なことなどを紹介

- ・ 見やすい文字、レイアウトを意識
- ・ 「イラストも入れるといいね！」
- ・ 「女池小のみんな驚くかな？」



交流の様子② 第3回目 自己紹介 9月



©Google classroomの活用

- ・ 交流に参加できなかった子の動画の投稿
- ・ 自己紹介カードの写真の投稿



時間の壁の克服
学習の蓄積
コメントの可視化



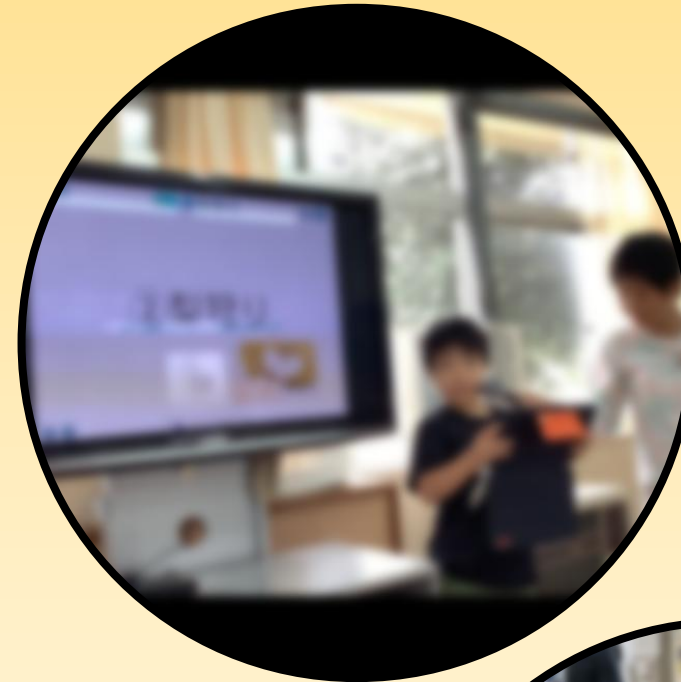
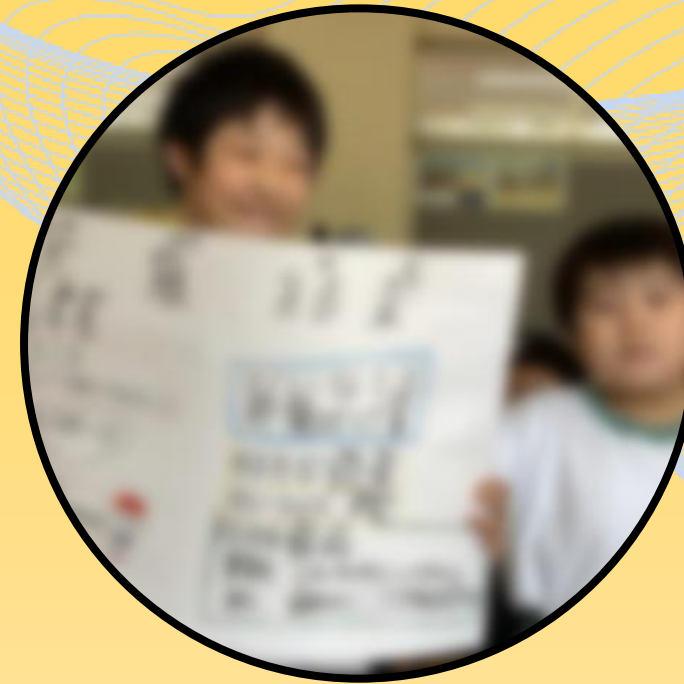
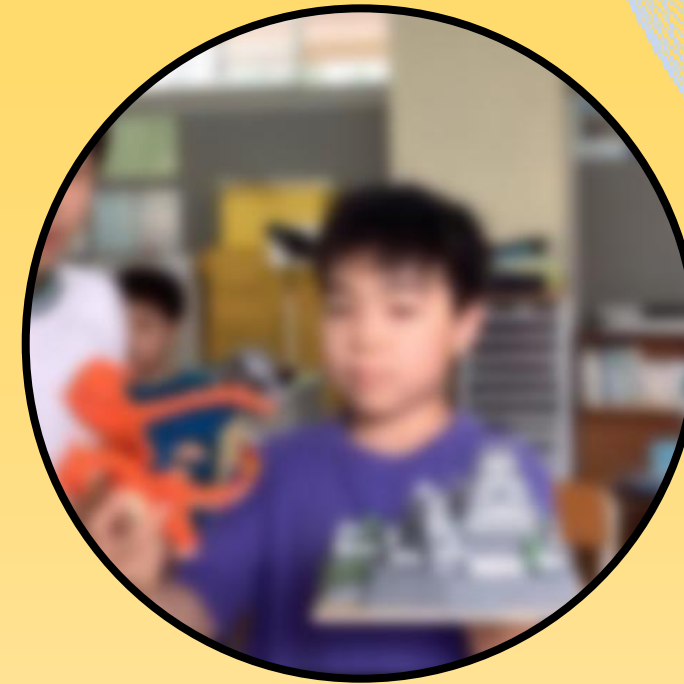
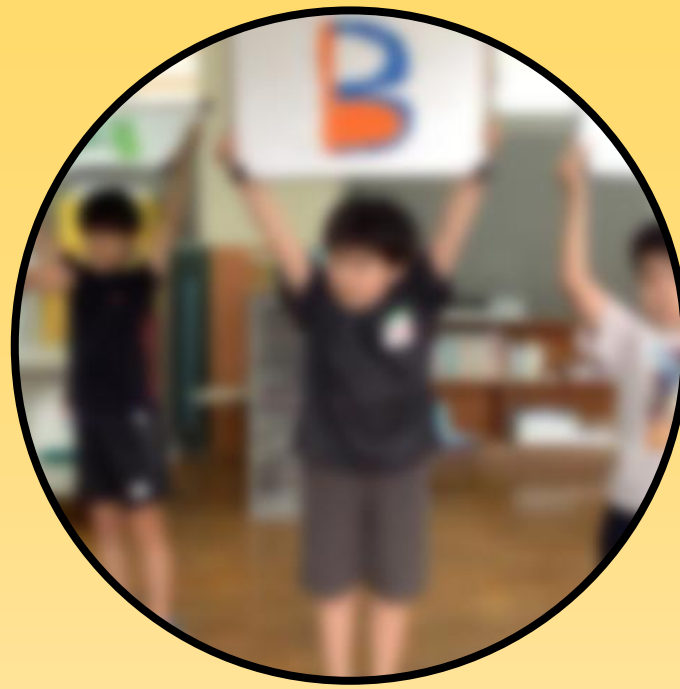


交流の様子③

第8回目 オンライン作品展 10月

実践内容 一覧

1. 7月 鈴木先生クイズ
2. 9月 和泉先生クイズ
3. 9月 自己紹介
4. 9月 夏休み紹介
5. 9月 俳句大会
6. 10月 運動会紹介
7. 10月 前期の振り返りと後期のめあて
8. 10月 オンライン作品展
9. 11月 学校紹介
10. 11月 対面交流の相談
11. 12月 対面交流①
12. 1月 校外学習事前指導
13. 2月 対面交流②
14. 3月 ありがとうの会

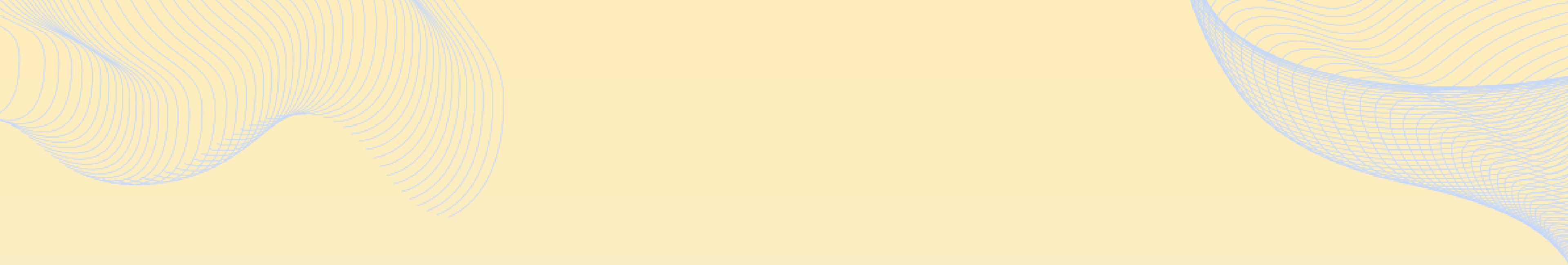


交流の様子③

オンライン作品展 10月



- ・ Google classroomを使用
- ・ 自分の作品と見所を投稿
- ・ 他の作品の良かったところをコメントする。

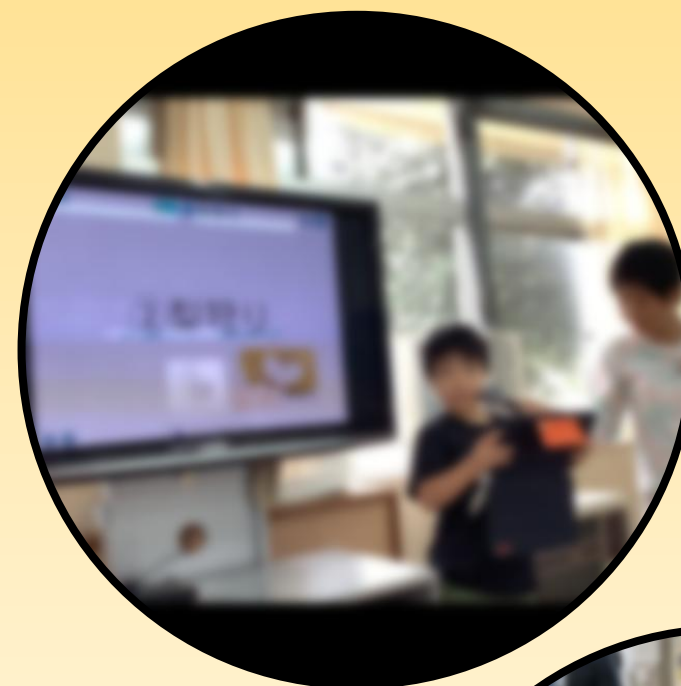
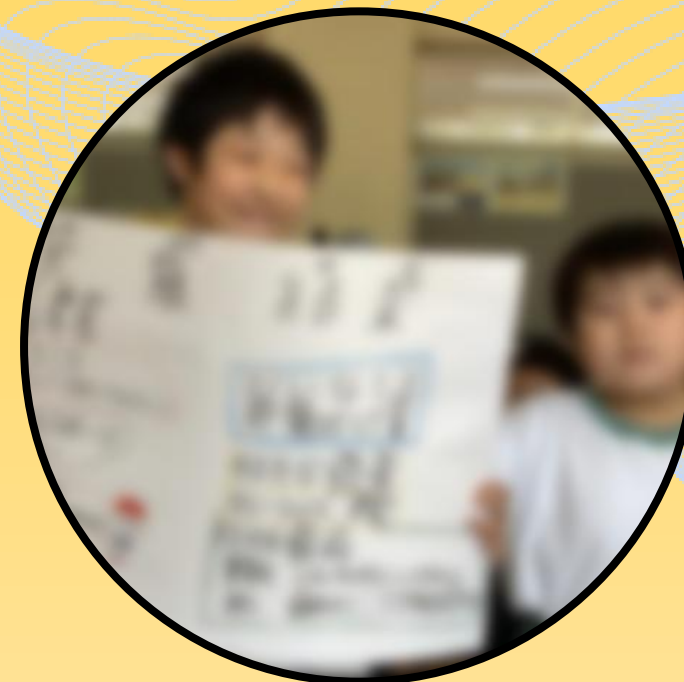
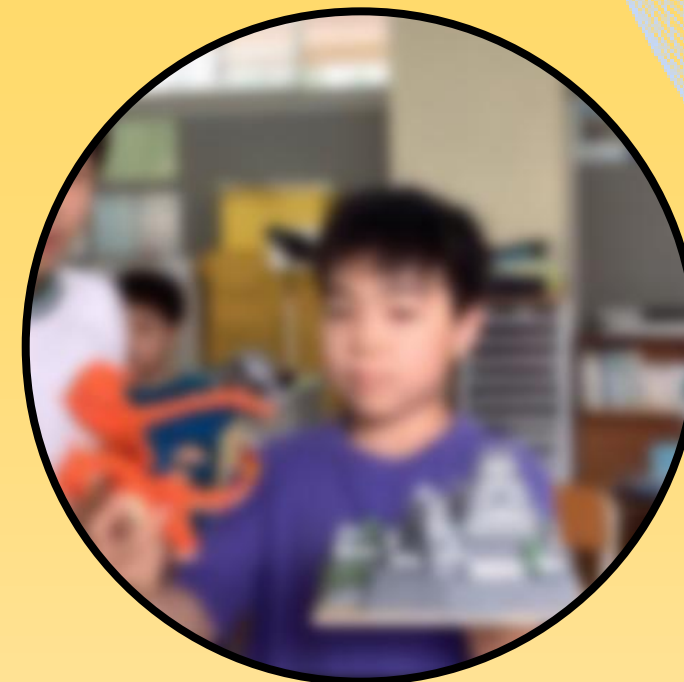
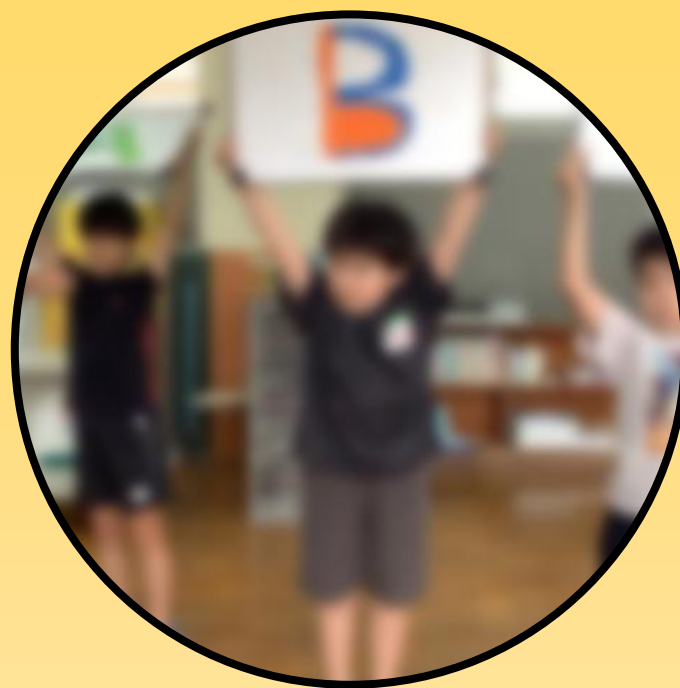


交流の様子④

第9回目 学校紹介 11月

実践内容 一覧

1. 7月 鈴木先生クイズ
2. 9月 和泉先生クイズ
3. 9月 自己紹介
4. 9月 夏休み紹介
5. 9月 俳句大会
6. 10月 運動会紹介
7. 10月 前期の振り返りと後期のめあて
8. 10月 オンライン作品展
9. 11月 学校紹介
10. 11月 対面交流の相談
11. 12月 対面交流①
12. 1月 校外学習事前指導
13. 2月 対面交流②
14. 3月 ありがとうの会



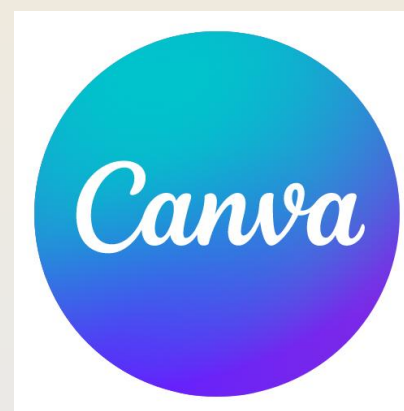
自分に合った表現方法で

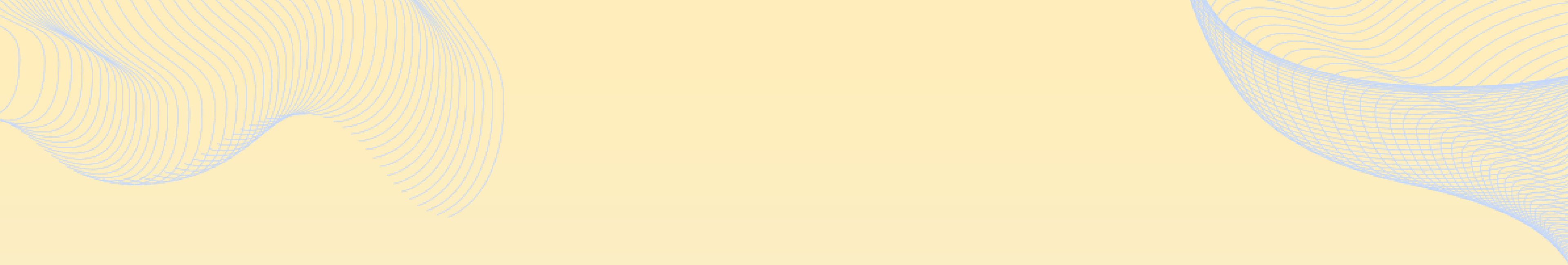


まきえ体験



まきえは白根の伝統的なものです。
小さい筆を使って絵を描いていき
ます。小さい筆はとても使いにくい
です。
金粉をかけるときれいに仕上がリ
ます。





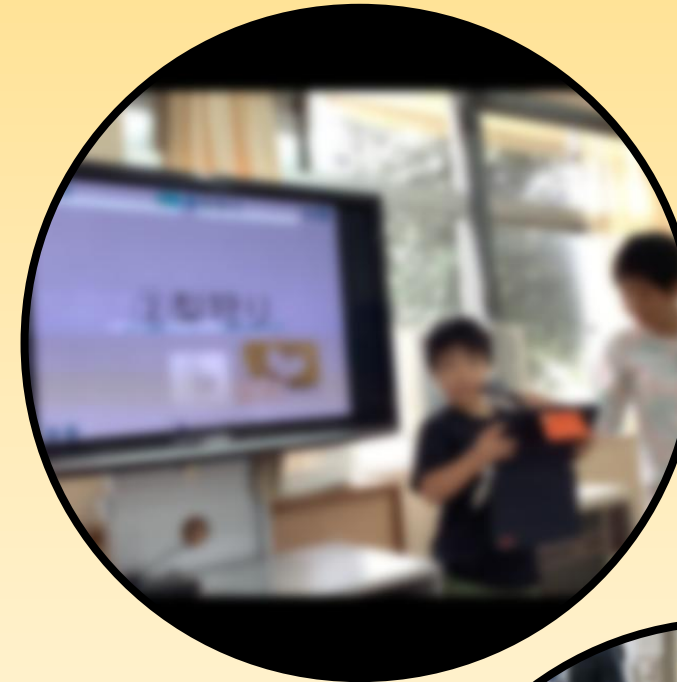
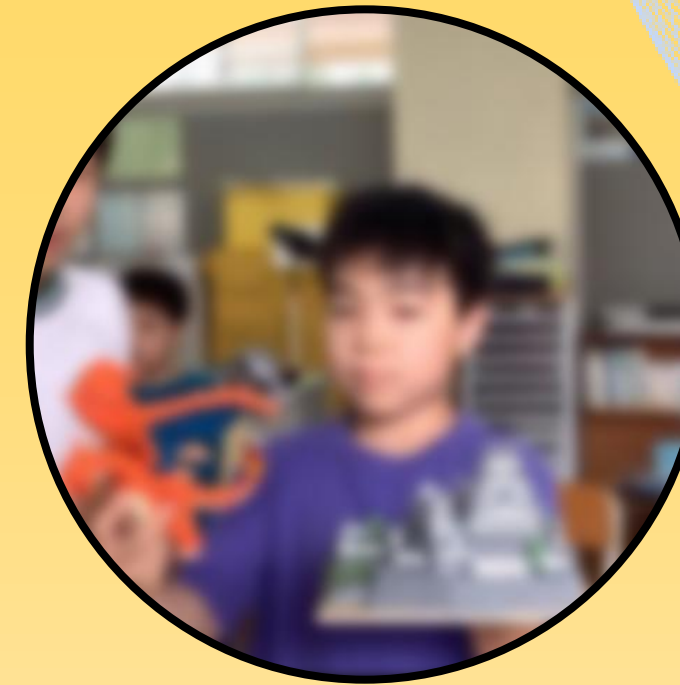
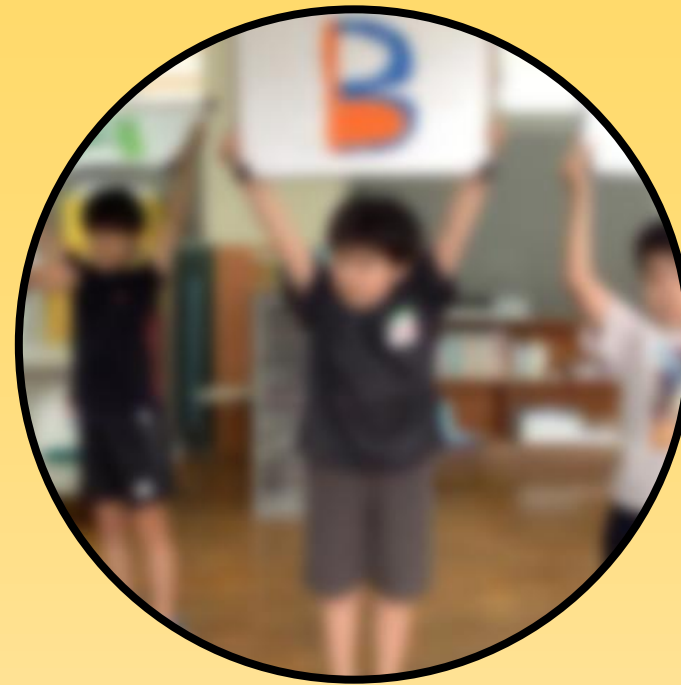
交流の様子⑤

第10回 対面交流の相談 11月

第11回 対面交流会 12月

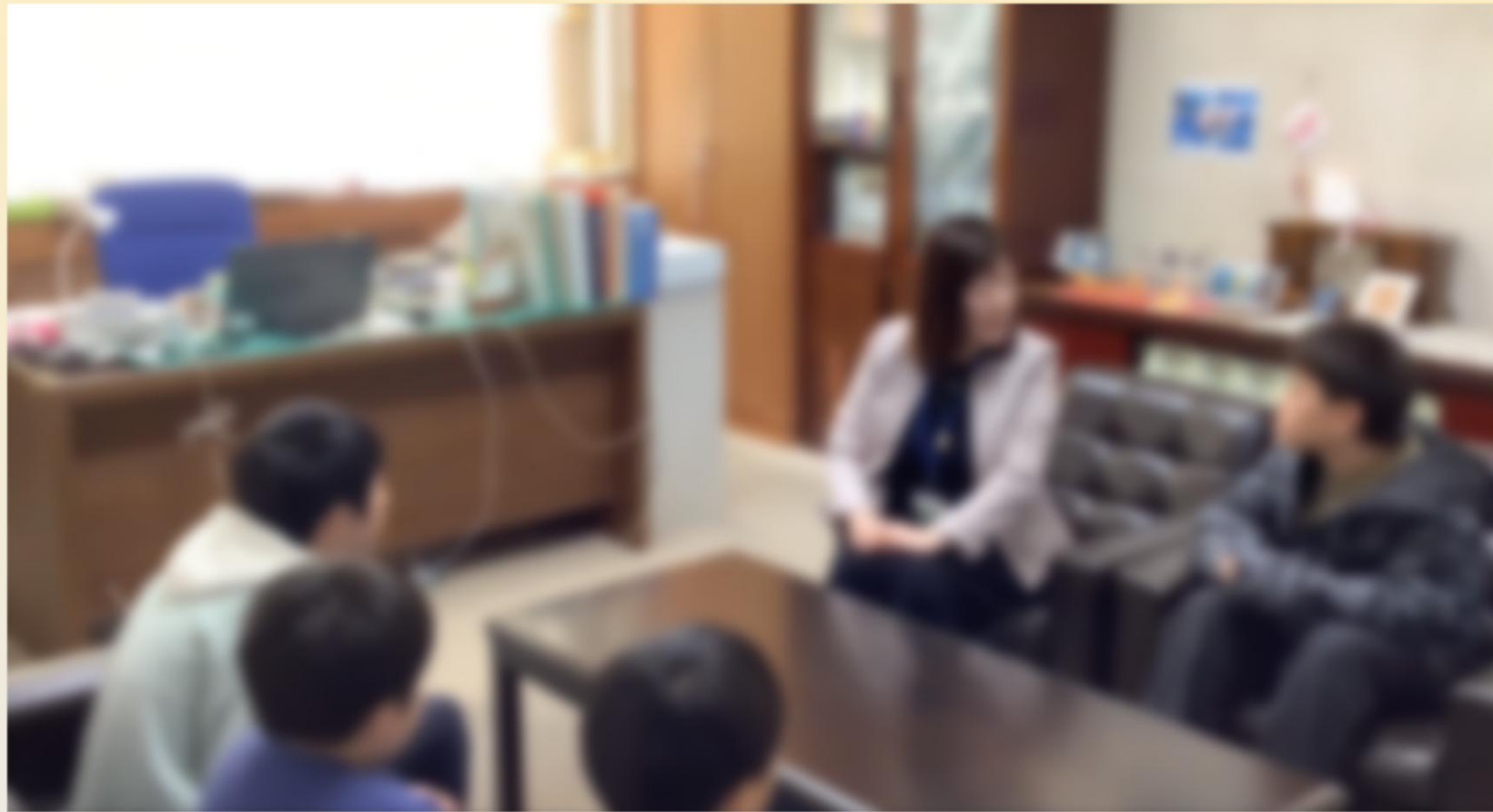
実践内容 一覧

1. 7月 鈴木先生クイズ
2. 9月 和泉先生クイズ
3. 9月 自己紹介
4. 9月 夏休み紹介
5. 9月 俳句大会
6. 10月 運動会紹介
7. 10月 前期の振り返りと後期のめあて
8. 10月 オンライン作品展
9. 11月 学校紹介
10. 11月 対面交流の相談
11. 12月 対面交流①
12. 1月 校外学習事前指導
13. 2月 対面交流②
14. 3月 ありがとうの会



交流の様子⑤ 対面交流に向けて

校長先生にお願い



交流の様子④対面交流の相談 11月

遊びの相談・準備



リアルタイム



オンデマンド



各クラスで準備

交流の様子⑤ 対面交流会 12月

交流会当日



Aさん（4年生）の変容



実践前

- ちょっとしたことでもイライラしたり泣いたりする。
- 特定の子以外と交流するのが苦手。
- 学力が低く、書字に困難さがあり。
- 人前で発表するのが苦手。
- 困っている人には優しく声を掛けることができる。

3回目の自己紹介までは、交流に前向きではなかった。

緊張

不安

Aさん（4年生）の変容



- ・ Google classroomの交流から「もっと女池の、みんなに伝えたい」「仲良くなりたい」という発言が見られた。
- ・ Google classroomで投稿する際、乱暴な言葉や分かりずらい表現を避け、丁寧に伝えようとしていた。
- ・ 交流学級や地域の方々への発表なども人前でも堂々と話せるようになった。
- ・ 人に伝える時には、継続して伝わる声で話せるようになった。
- ・ 困った時には、怒ったり泣いたりするのではなく、丁寧な言葉遣いで要件を伝えられるようになった。

Bさん（6年生）の変容



実践前

- ・相手の話を最後まで聞くのが難しい。
- ・単語で話すことが多く、相手に思いを伝えるのが苦手。
- ・自分の興味のないことは取り組むことが難しい。
- ・場に適さない動きをする。
- ・自分のペースを大切にする。

妙なハイテンションや椅子から落ちて寝る
振り返りで「とてつもなく面倒だった。やりたくない。」

消極的

Bさん（6年生）の変容



- オンライン作品展でたくさんのコメントをもらい、嬉しくなった。
- その後、他の自分の作品も投稿し、作品ができる度に「女池小のみんなにも伝えたい」と言うようになった。
- 対面交流の前にも「早く会いたい」と繰り返し言っていた。
- 交流の映像を振り返りながら、姿勢や動きを意識するようになった。
- 交流以外の時に担任から姿勢の指摘をされた時に、正すようになった。
- 友達や先生の話に反応できるようになった。

成果

◎リアルタイム交流

- 相手に伝わる話し方を意識するようになった。
- 相手の話を最後まで聞き、応答する力が育った。
- 質問や返答など、やり取りの経験が自信につながった。
- 相手のリアクションを見ながら、言い方や言葉の選択を変えていた。
- 主体的に交流に参加する姿勢が登校へ意欲につながった。

成果

◎オンデマンド交流

- ・ 時間割やその日の体調などにとらわれず、自分のペースで表現ができた。
- ・ 交流の映像を録画し、振り返ることで、継続した学びができた。
- ・ コメント欄の活用により、自分の頑張りや、褒め合いの様子が時系列で残るため、相手や自分のよさに気付く力や自己肯定感が高まった。

課題

- ・ 長時間のリアルタイム交流は、集中力が続きにくい。
- ・ ICTの効果を高めるには、丁寧な事前・事後指導が不可欠。

まとめ

ICTを適切な学習構造の中で用いることで、
特別支援学級のコミュニケーション学習を支える
有効的な学びの環境になる。

ご清聴

ありがとうございました。